

## O6

### 壁面用植物の固定法と成長の仕方

必ず全面緑化できるか 露地植 登はん式緑化  
ワイヤーメッシュ・ネット・フェンス・ワイヤー式緑化

壁面緑化を計画する場合、設計で注意する点は、どの時点で目線高さ(H2000程度)まで緑化を達成するかではないでしょうか。

完成検査時点の緑化率の算定には、壁面緑化用植物の規格は「H500のポット苗」で満たせます。

2013年度に依頼される図面情報を集計しますと「H1,000ポット苗」が半数以上を占めています。

実際に壁面緑化植栽部に植物を植栽する場合、H500では壁面緑化資材に誘引することが出来ない場合があります。

植栽間隔は一般に200mmないしは250mm

植栽部幅は300mm以上、有効な土壌深さは、改良土深さとして300mm以上

がら土、粘土質、埋立土の場合は、苦土石灰による中和と緩効性肥料を50g/m<sup>2</sup>鋤き込む事

巻き付き型植物の成長の特徴は上への伸長速度が、水平方向への伸長速度より早くなります。

年1回春に誘引と選定作業をすることをお勧めします。

単種よりも複数種混植します。

例:トケイソウ+テイカカズラ+ヘデラ・ヘリックス

例:カロライナジャスミン+トケイソウ+ヘデラ・ヘリックス+

### 参照文献

東京都環境局都市地球環境部計画調整課

平成18年3月発行 環境資料第17101号 壁面緑化ガイドライン

### H500苗と機材の誘引



H500苗でも物によればH800程度はある

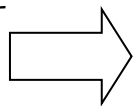
先端と中間を誘引する



H1,000苗では植栽と同時に緑化状態と見える



枝切をすともっと広がれます



株式会社三稲ガーデン

〒130-0024 東京都墨田区菊川2-2-14

TEL:03-3634-5820 / FAX:03-3634-5851 <http://www.mitsuine.jp>